

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	充実性偽乳頭状腫瘍 Solid pseudopapillary neoplasm (SPN)切除例の臨床病理学的特徴
	研究目的	Solid-pseudopapillary neoplasm (SPN)は膵腫瘍の 1-3%に認める稀な腫瘍であるが、近年は画像診断技術の向上により診断および治療の機会が増加してきている。そこで、2014 年から 2019 年の期間に、当院で切除術を施行した SPN19 例を対象とし、その臨床病理学的特徴を明らかにするために、過去の情報及び病理組織を遡って収集し、統計学的に検討する。
	研究対象者	2014 年から 2019 年の期間に、当院で切除術を施行した SPN19 例
	研究期間	西暦 2020 年 2 月 5 日 ~ 西暦 2020 年 6 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 神谷真梨子
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし